



2021年1月29日

各位

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮下 仁
 (JASDAQ・コード 8938)
 問合せ先 経営企画管理室 涌井 弘行
 (TEL 03-5545-8101)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年7月31日に公表した2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,322	百万円 150	百万円 2	百万円 7	円 銭 1.26
今回修正予想(B)	3,322	150	110	188	28.60
増減額(B-A)	-	-	112	181	-
増減率(%)	-	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	8,288	606	2,219	2,227	400.62

2020年12月16日付第三者割当増資により、当期中の株式数に変更がありました。今回修正予想で用いた平均株式数を前回発表予想に用いると、1株当たり当期純利益は1.06円となります。

2. 修正の理由

営業利益につきましては、第3四半期累計期間に影響を与えた事象として、2020年4月(第1四半期)に大幅に一新し厳格化した債権管理規程に基づき、医療法人向けの債権に対し、貸倒引当金を26百万円計上いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先し、医療法人の役員、患者様、当社役職員の安全面に留意する中、アライアンス先の獲得に遅れが見られますが、第4四半期には一定の利益計上を見込んでおり、予想は修正いたしません。

経常利益につきましては、第3四半期累計期間に影響を与えた事象として、持分法適用会社である(株)DAホールディングスからの持分法による投資損失が362百万円(第2四半期から33百万円のマイナス増加)、福島県所在のホテルを保有する非連結SPCに対する貸倒引当金繰入額100百万円を営業外費用として計上し、在米子会社であるクレイ・ストリート・キャピタル社からの借入金に係る為替差益75百万円を営業外収益として計上いたしました。その結果、上記の貸倒引当金26百万円と合算で413百万円、経常利益を押し下げました。第4四半期には一定の利益計上を見込むものの、経常利益の予想を、損失110百万円と修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第3四半期累計期間に影響を与えた事象として、在米子会社クレイ・ストリート・キャピタル社の清算損255百万円、上記記載の通り厳格化した新債権管理規程に基づき病院関連事業に含まれる一般社団法人への基金拠出に係る出資金評価損48百万円があり、上述の413百万円と合算で716百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を押し下げました。第4四半期には、一定の利益計上を見込むものの、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を、損失188百万円と修正いたします。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上